

第3期氷見市まち・ひと・しごと創生総合戦略 概要版【計画期間：令和7年度～令和11年度】

目指すべき姿

「食」や「自然・景観」をブラッシュアップして活かし、
将来に希望を持って若者や女性が活躍するまち

基本的な考え方

人口の減少のカーブを緩やかにするとともに、たとえ人口が減少しても幸せに暮らせるまちをつくるため、「能登半島地震からの復興」及び「活力とにぎわいのある『ひみ』の創造」に向けて、これまで前例にないことや困難な課題等に対してもチャレンジして前へ進め、その実現にオール氷見で取り組みます。それにより、本市の特長である「食」や「自然・景観」をブラッシュアップして、まちづくりや産業などに活かすとともに、将来に希望が持てる魅力的なまちをつくり、若者や女性に選ばれ、活躍する氷見市をつくります。

推進体制

- 氷見市まち・ひと・しごと創生推進協議会
- 氷見市まち・ひと・しごと創生推進本部

氷見市まち・ひと・しごと創生推進協議会において、施策及び取組の成果や進捗状況等をKPI等で毎年度検証し、見直しや改善を図るなど、PDCAサイクルを確立し、オール氷見で実施します。

基本目標	基本的方向	具体的な施策	主な取組
基本目標Ⅰ 魅力的な地域をつくる ～未来にワクワクし、安心して暮らし続けられるまち～ 重要目標達成指標（KGI） ・住み続けたいと思う市民の割合 66.1%(R6) ⇒ 85.0%(R11) 重要業績評価指標（KPI） ＜基本的方向＞ 1 将来に希望が持てるまちをつくる ・将来に希望が持てると思う市民の割合 — ⇒ 85.0%（R11） 2 地域の持続性を確保する ・安全で安心して暮らし続けられると思う市民の割合 — ⇒ 85.0%（R11）	1 将来に希望が持てるまちをつくる	(1)本市の特長である「食」及び「自然・景観」を活かしたまちづくりを進めて発信し、多くの人が訪れる魅力的なまちをつくる (2)城端線・氷見線鉄道事業再構築事業による利便性の向上等を活かし、本市の活性化につなげる (3)若者や女性に好まれる景観づくりを推進する	・食を核としたまちづくりの推進 ・自然・景観を活かしたPark-PFIの実施（導入）の検討 ・自然・景観を活かしたキャンプ場やコテージ等の整備への支援 ・自然・景観を活かしたスポーツイベント・レジャーの推進 ・食や自然・景観を活かした飲食施設や宿泊施設等の整備への支援 ・景観を活かしたホテル等の整備の促進 ・若者や女性が訪れたいくなるまちなか活性化に向けた支援 ・若者や女性に選ばれる観光地魅力化の推進 ・氷見線の利用促進と利便性向上を活かした賑わい空間の整備 ・氷見駅からひみ番屋街までの新交通システムの検討 ・氷見線の新駅設置とその周辺地域の活性化に向けた検討 ・氷見らしさを活かしたワクワクする魅力的な景観づくりの推進 ・海辺の魅力を活かした空間づくりの推進 ・若者や女性に選ばれる観光地魅力化の推進【再掲】
	2 地域の持続性を確保する	(1)金沢医科大学氷見市民病院を核として地域の医療を守るとともに、交通空白地の解消などの地域公共交通の確保や移動販売の支援等により日常の暮らしを守る (2)地域のDX・機械化等を促進するとともに、地域の担い手を育成する (3)地域のアンコンシャスバイアスの解消や地域の魅力化を推進する (4)地域への愛着を育む地域と連携したふるさと教育を充実する (5)地域コミュニティの維持に向けて獅子舞等の持続性を確保し、その魅力等を発信する (6)高齢者も含め、いつまでもみんなが健康で働いて稼げる環境をつくる	・金沢医科大学氷見市民病院と市内医療機関との連携による地域医療の確保 ・NPOバスの運行の維持確保と交通空白地の解消 ・移動販売持続化への支援による高齢者見守り体制の充実 ・地域のDX化・機械化への支援の拡充 ・地域の担い手の確保と強化 ・アンコンシャスバイアス解消に向けた戦略の策定とその推進 ・地域資源の活用と交流促進イベント及び効果的な発信への支援 ・小学校、中学校及び義務教育学校における地域と連携した活動への支援 ・氷見高校の教育魅力化への支援 ・ふるさとでの学びが深化する子どもの意見等の発表機会の創出 ・獅子舞等の保存継承に向けた支援 ・獅子舞の魅力発信や次世代育成に向けた支援 ・高齢者の就労促進に向けた環境整備への支援 ・高齢者等へのスポットワークの創出への支援
基本目標Ⅱ 仕事をつくる ～自分らしい働き方ができ、暮らしが豊かになるまち～ 重要目標達成指標（KGI） ・納税義務者1人当たりの年間所得額（給与所得額、営業所得額及び農業所得額） 3,148千円(R6) ⇒ 3,509千円(R11) 重要業績評価指数（KPI） ＜基本的方向＞ 1本市の特長を活かした産業を振興して魅力的な仕事をつくる ・創業・継業・まちなか出店の件数 9件（R6）⇒ 75件（R7～R11累計） 2産業全体を活性化し、稼ぐ力を強化する ・担い手への農用地集積率 49.7%（R6）⇒ 55.6%（R11） 3若者・女性が働きやすく、活躍できる職場をつくる ・男女の地位は平等になっていると考える市民の割合（職場で） 29.7%(R6) ⇒ 43.0%(R11)	1 本市の特長を活かした産業を振興して魅力的な仕事をつくる	(1)本市の特長である「食」及び「自然・景観」を活かした観光、飲食、宿泊及び農林水産業等が一体となって新たな産業を創出する	・氷見らしい農林水産業の体験型観光コンテンツの構築 ・豊かな食材を活用した商品開発への支援 ・海越しの立山連峰や里山の風景などを望むホテルやオーベルジュ等の誘致 ・海辺を活かした新たなビジネスの開発・運営等への支援 ・自然・景観を活かしたキャンプ場やコテージ等の整備への支援【再掲】
	2 産業全体を活性化し、稼ぐ力を強化する	(1)個々の産業において、若者・女性の能力等を活かすとともに、DXを促進して労働生産性を向上させ、給与などの労働条件の改善につなげる	・スマート農業の普及等による農業所得の向上への推進 ・氷見牛の生産基盤の強化 ・漁獲量の増加につなげる養殖業の推進 ・漁業就業支援フェアへの出展等による新規漁業就業者への支援 ・海辺を活かした新たなビジネスの開発・運営等への支援【再掲】
	3 若者・女性が働きやすく、活躍できる職場をつくる	(1)若者や女性に魅力的な企業や研究所等を誘致する (2)若者や女性におけるアンコンシャスバイアスを解消するとともに、就業環境や労働条件、子育てしやすい職場環境などの改善を促進する	・若者や女性に選ばれる企業や研究所等の誘致 ・海越しの立山連峰や里山の風景などを望むホテルやオーベルジュ等の誘致【再掲】 ・海辺を活かした新たなビジネスの開発・運営等への支援【再掲】 ・アンコンシャスバイアス解消に向けた戦略の策定とその推進【再掲】 ・若者や女性のキャリアアップへの支援 ・若者や女性が働きやすい職場の環境整備への支援 ・若者や女性へのスポットワークの創出への支援 ・子どもの放課後活動の充実への支援

第3期氷見市まち・ひと・しごと創生総合戦略 概要版【計画期間：令和7年度～令和11年度】			
基本目標	基本的方向	具体的な施策	主な取組
基本目標Ⅲ 人の流れをつくる ～若者や女性に選ばれ、いきいきと活力あふれるまち～ 重要目標達成指標（KGI） ・若者（15歳～39歳）の社会増減数 △246人(R6)⇒△93人(R11) ・若者（15歳～39歳）のうち女性の割合 46.8%(R6)⇒47.1%(R11) 重要業績評価指標（KPI） <基本的方向> 1 若者や女性に選ばれ、移住者やUターン者を増やす ・若者（15歳～39歳）の年間の転入数 445人(R6)⇒496人(R11) ・IJU応援センターを利用して移住した年間の人数 15人(R6)⇒60人(R11) 2 市内に定住する若者や女性を増やす ・若者（15歳～39歳）の市内定着率 75.8%(R6)⇒79.1%(R11) 3 観光などの交流人口や関係人口、二地域居住者を増やす ・年間の観光入込客数 210万人(R6)⇒230万人(R11) ・氷見きときとファンクラブ会員数 2,102人(R6)⇒4,200人(R11)	1 若者や女性に選ばれ、移住者やUターン者を増やす	(1)氷見市IJU応援センターの機能や移住しやすい環境等の充実を図り、より多くの移住・Uターンにつなげる	・氷見市IJU応援センターの機能拡充 ・移住に対する支援の拡充 ・移住を受入れる地域への支援 ・移住につながるシェアハウスやシェアオフィスの整備の促進 ・住宅団地造成への支援の拡充
		(2)基本目標Ⅱの施策と連動して、仕事から若者や女性の移住やUターンにつなげる	・海越しの立山連峰や里山の風景などを望むホテルやオーベルジュ等の誘致【再掲】 ・海辺を活かした新たなビジネスの開発・運営等への支援【再掲】 ・若者や女性に選ばれる企業や研究所等の誘致【再掲】 ・アンコンシャスバイアス解消に向けた戦略の策定とその推進【再掲】 ・若者や女性のキャリアアップへの支援【再掲】 ・若者や女性が働きやすい職場の環境整備への支援【再掲】 ・若者や女性へのスポットワーク創出への支援【再掲】
		(3)ぶり奨学プログラムの拡充を図り、社会人となった後のUターンの促進にもつなげる	・ぶり奨学プログラムの拡充 ・氷見に貢献したい若者による自主的な取組への支援
		(4)氷見高校の入学生の全国募集を支援し、第二のふるさとづくりに寄与する	・氷見高校の入学生の全国募集への支援 ・第二のふるさととしての意識の醸成への支援
2 市内に定住する若者や女性を増やす	3 観光などの交流人口や関係人口、二地域居住者を増やす	(1)定住に対する支援の拡充や空き家・空き地の活用、宅地造成の促進など、本市で住み続ける環境を整備する	・住宅取得やリフォームへの支援の拡充 ・住宅団地造成への支援の拡充【再掲】
		(1)基本目標Ⅰ及びⅡの施策と連動して交流人口を増やすとともに、地域の魅力化や発信力の強化等により関係人口や二地域居住者を増やす	・食を核としたまちづくりの推進【再掲】 ・自然・景観を活かしたPark-PFIの実施（導入）の検討【再掲】 ・自然・景観を活かしたキャンプ場やコテージ等の整備への支援【再掲】 ・自然・景観を活かしたスポーツイベント・レジャーの推進【再掲】 ・若者や女性が訪れたいくなるまちなか活性化に向けた支援【再掲】 ・若者や女性に選ばれる観光地魅力化の推進【再掲】 ・氷見線の利用促進と利便性向上を活かした賑わい空間の整備【再掲】 ・氷見駅からひみ番屋街までの新交通システムの検討【再掲】 ・氷見線の新駅設置とその周辺地域の活性化に向けた検討【再掲】 ・氷見らしさを活かしたワクワクする魅力的な景観づくりの推進【再掲】 ・海辺の魅力を活かした空間づくりへの推進【再掲】 ・氷見らしい農林水産業の体験型観光コンテンツの構築【再掲】 ・海越しの立山連峰や里山の風景などを望むホテルやオーベルジュ等の誘致【再掲】 ・海辺を活かした新たなビジネスの開発・運営等への支援【再掲】 ・氷見に貢献したい若者による自主的な取組への支援【再掲】 ・氷見のファンの拡大と関わりの深化による氷見への貢献の促進 ・テレワークや会議等が可能となるコワーキングスペース等の整備への支援
基本目標Ⅳ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる ～子どもや若者の笑顔でいっぱいのもち～ 重要目標達成指標（KGI） ・幸せと感じている子育て世帯の割合 — ⇒ 85.0%(R11) 重要業績評価指標（KPI） <基本的方向> 1 結婚数を増やす ・年間の婚姻数 94件（R5）⇒96件（R11） 2 出生数を増やす ・年間の出生数 155人（R7）⇒159人（R11） 3 転入による子どもの数を増やす ・子ども（0歳～19歳）の年間の転入数 94人（R6）⇒102人（R11）	1 結婚数を増やす	(1)基本目標Ⅱ及びⅢの施策と連動して、若い女性の人口を増やす	・氷見らしい農林水産業の体験型観光コンテンツの構築【再掲】 ・海越しの立山連峰や里山の風景などを望むホテルやオーベルジュ等の誘致【再掲】 ・海辺を活かした新たなビジネスの開発・運営等への支援【再掲】 ・アンコンシャスバイアス解消に向けた戦略の策定とその推進【再掲】 ・若者や女性のキャリアアップへの支援【再掲】 ・若者や女性が働きやすい職場の環境整備への支援【再掲】 ・若者や女性へのスポットワークの創出への支援【再掲】 ・ぶり奨学プログラムの拡充【再掲】 ・住宅取得やリフォームへの支援の拡充【再掲】
		(2)個々のニーズに応じた多様な出会いの機会の創出を促進する	・オール氷見での出会いの機会の創出 ・移住婚による結婚の促進
		(3)結婚・出産・子育ての更なる負担の軽減を図る【結婚】	・新婚世帯への経済的な負担の軽減 ・出産・妊娠時の経済的な負担の軽減 ・学校給食費への支援 ・ぶり奨学プログラムの拡充【再掲】 ・住宅取得やリフォームへの支援の拡充【再掲】 ・子どもへの安全・安心な居場所づくりの充実 ・子どもの放課後活動の充実への支援【再掲】 ・アンコンシャスバイアス解消に向けた戦略の策定とその推進【再掲】 ・若者や女性が働きやすい職場の環境整備への支援【再掲】 ・若者や女性へのスポットワークの創出への支援【再掲】
		2 出生数を増やす	(1)結婚・出産・子育ての更なる負担の軽減を図る【出産】
3 転入による子どもの数を増やす	3 転入による子どもの数を増やす	(1)結婚・出産・子育ての更なる負担の軽減を図る【子育て】	・市内の小児科医療機関の充実
		(2)子どもが楽しく遊ぶことができる安全で安心な施設を整備する	
		(3)子どもが必要な医療を受けられる小児医療体制を充実する	

基本目標ⅠからⅣの施策の推進を補完する取組

- ・地域おこし協力隊の派遣先の拡充
- ・空き家・空き地の活用に対する支援の拡充
- ・地域活性化起業人等の活用
- ・ふるさと納税を活用した取組
- ・クラウドファンディングなどの資金調達の仕組の活用
- ・公の施設等を活用した取組
- ・能登地域と連携した取組
- ・大学と連携した取組
- ・氷見市広報戦略プランに基づく取組
- ・氷見市DX推進計画に基づく取組

重点的に実施する横断的な取組

基本目標ⅠからⅣに掲げている取組の中で、特に重点的に実施する取組として、横断的に検討して、より効果的・効率的に取り組みます。

1 「食」や「自然・景観」を活かした魅力的なまちづくりの推進

本市の特長である「食」を核として、観光、飲食、宿泊及び農林水産業が一体となって産業振興や人材育成・確保などに総合的に取り組み、氷見の豊かな食材を活かしたホテルやオーベルジュ等の誘致を進めます。

また、里山・里海を活かしたキャンプ場・コテージ等の整備やマリンスポーツなどのレジャービジネスの創出への支援、景観を活かしたホテル等の誘致や古民家などの空き家を活用した民泊施設等の整備への支援など、魅力的なまちづくりを進めて、賑わいの創出につなげます。

【主な取組】 10取組

- 食を核としたまちづくりの推進
- 氷見らしい農林水産業の体験型観光コンテンツの構築
- 豊かな食材を活用した商品開発への支援
- 海越しの立山連峰や里山の風景などを望むホテルやオーベルジュ等の誘致
- 自然・景観を活かしたPark-PFIの実施（導入）の検討
- 自然・景観を活かしたキャンプ場やコテージ等の整備への支援
- 自然・景観を活かしたスポーツイベント・レジャーの推進
- 海辺を活かした新たなビジネスの開発・運営等への支援
- 食や自然・景観を活かした飲食施設や宿泊施設等の整備への支援
- 景観を活かしたホテル等の整備の促進

2 城端線・氷見線鉄道事業再構築事業を活かしたまちづくりの推進

氷見駅からひみ番屋街までの新交通システムを検討するほか、駐車場整備や氷見駅を基点とした二次交通等の利便性の向上、駅前周辺でのマルシェの開催やまちなかの空き地の利活用など、氷見駅周辺のまちづくりを総合的に進め、市民や氷見を訪れる人々の氷見駅周辺への人の流れをつくり、賑わいを創出します。

また、氷見線の新駅設置に向けた検討を行うとともに、海辺の魅力を活かした公園の魅力向上やワクワクする景観・空間づくりを推進して、沿線周辺地域の活性化を図ります。

【主な取組】 8取組

- 氷見駅からひみ番屋街までの新交通システムの検討
- 氷見線の利用促進と利便性向上を活かした賑わい空間の整備
- 氷見線の新駅設置とその周辺地域の活性化に向けた検討
- 若者や女性が訪れたくなるまちなか活性化に向けた支援
- 若者や女性に選ばれる観光地魅力化の推進
- 自然・景観を活かしたPark-PFIの実施（導入）の検討【再掲】
- 氷見らしさを活かしたワクワクする魅力的な景観づくりの推進
- 海辺の魅力を活かした空間づくりの推進

3 若者や女性が活躍するまちづくりの推進

IT系や食品系の企業・研究所等の誘致など、若者や女性に選ばれる魅力的な仕事をつくります。

また、地域や職場での若者・女性へのアンコンシャスバイアスの解消や就業環境・労働条件・子育てしやすい職場環境の改善を促すほか、住宅取得・リフォームや住宅団地造成への支援の拡充、子どもの遊び場などの整備の推進、市内の小児科医療機関の充実など、移住・Uターン・定住しやすい環境等の充実を図り、若者や女性が働きやすく、活躍するまちをつくります。

【主な取組】 10取組

- 若者や女性に選ばれる企業や研究所等の誘致
- アンコンシャスバイアス解消に向けた戦略の策定とその推進
- 若者や女性のキャリアアップへの支援
- 若者や女性が働きやすい職場の環境整備への支援
- 若者や女性へのスポットワークの創出への支援
- 子どもの放課後活動の充実への支援
- 住宅取得やリフォームへの支援の拡充
- 住宅団地造成への支援の拡充
- 遊び場などの環境整備の推進
- 市内の小児科医療機関の充実

第3期氷見市まち・ひと・しごと創生総合戦略における重点的・横断的取組

1. 「食」や「自然・景観」を活かした魅力的なまちづくりの推進

食を核としたまちづくり



自然・景観を活かした
Park-PFIの実施



海越しの立山連峰などを
望むホテルなどの誘致



体験型コンテンツの
構築

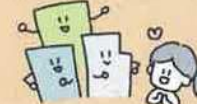


オール氷見



3. 若者や女性が活躍するまちづくりの推進

若者や女性に選ばれる
企業や研修所などの誘致



若者や女性の
キャリアアップ支援



アンコンシャスバイアス解消に
向けた戦略の策定とその推進



住宅取得やリフォームへの
支援の拡充



遊び場など環境整備の推進



2. 城端線・氷見線鉄道事業再構築事業を活かしたまちづくりの推進

氷見線の利用促進と利便性向上を
活かした賑わい空間の整備



若者や女性が訪れたい
まちが活性化



氷見駅からひみ番屋街までの
新交通システムの検討



氷見線の新駅設置とその周辺
地域の活性化に向けた検討



詳しい総合戦略は
こちらからご覧頂けます



氷見市の将来の姿

Welcome

